

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	服島運輸株式会社 E倉庫増築工事	階数	地上1F
建設地	鳥取県米子市和田町600番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2022年1月23日
敷地面積	40,336㎡	作成者	株式会社浅沼組 石田博之
建築面積	2,931㎡	確認日	2022年1月23日
延床面積	2,249㎡	確認者	株式会社浅沼組 石田博之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 117%
③上記+②以外の 117%
④上記+ 117%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
作業場として必要最低限の機能を確保	
Q1 室内環境 耐久性、清掃性に優れた内装材を使用	Q2 サービス性能 余裕のある階高さを確保
Q3 室外環境 (敷地内) 色彩は周辺建物と調和を図る色調とする	
LR1 エネルギー 屋根材に断熱マットを設けることで断熱性能の向上	LR2 資源・マテリアル 特になし
	LR3 敷地外環境 大型トラック等車が多く出入りする施設となるため、車両動線を配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される